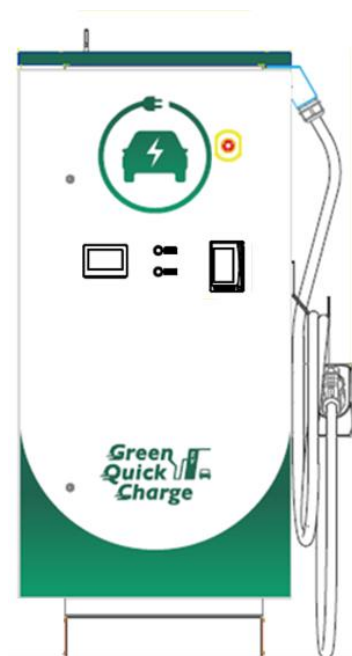

取扱説明書

(EV 利用者様用)
電気自動車用 急速充電器

(CHAdeMO 方式)

SC05-3P3W-A

2023 年 6 月 23 日



注1：本内容は暫定版、予告なく変更する場合があります。

注2：主に 充電に関わる取扱い説明です。

株式会社 GREEN CHARGE

(製造：株式会社ハセテック)

もくじ



1 安全上のご注意	4
2 各部の名称と働き	7
2.1 本体名称	7
2.3 充電コネクタ	8
3 使用方法	9
3.1 車両に充電コネクタを接続する	9
3.2 充電する	10
3.3 充電の停止 補足	14
3.4 車両から充電コネクタを取り外す	14
3.5 非常停止ボタンの操作.....	15
3.6 非常停止からの復帰方法.....	15
3.7 異常を解除する	16
4 こんなときは	17
4.1 「START」 ボタンを押しても充電が開始されない	17
4.2 「STOP」 ボタンを押しても充電が停止しない.....	17
4.3 「START」「STOP」 ボタンが点灯／点滅しない	17
4.4 ディスプレイでのタッチ操作ができない	17
4.5 ディスプレイの表示が見つらい.....	17
4.6 充電時間が短い	17
4.7 充電が早く終わる	17
4.8 充電率 100%まで充電できない	18
4.9 充電コネクタが取り外せない.....	18
4.10 ブレーカが落ちる	18
4.11 履歴が保存されない	18

4.12 異常が解除できない	18
5.異常発生時の処置.....	18

1 安全上のご注意








本製品を正しく安全に使用していただくため、下記の安全注意事項を必ずお守りください。













・警告と注意の意味は、次の通りです。











 警告	「死亡または重傷を受ける可能性が想定される」内容です。
 注意	「傷害を負う可能性または、物的損害のみが、発生する可能性が想定される」内容です。

・本文中「図記号」の意味は、次の通りです。

 必ず実行していただく「強制」内容です。	 してはいけない「禁止」内容です。
 分解しないでください。	 触れないでください。

据付け上の注意事項	 警告	
		雨や雪で浸水してしまう場所には設置しない。 感電の原因になります。
		弊社以外での不当な分解や、改造、修理等はしない。 火災・感電・けが等災害の原因になります。修理は、弊社にご連絡願います。
	 注意	
		据付け面は、基礎工事を行い、本体はアンカーボルトできちんと固定する。 転倒によるけがの原因になります。
		電源は、200V 三相 3 線式を使用する。 200V 三相 3 線式以外を使用しますと、発火の原因になることがあります。
		次の場所には設置しない。 ・海岸地区など塩分が多い所、運転音が、隣家の迷惑になる所に設置すると、故障、事故やクレームの原因になります。

使用上の注意事項	 警告	
		正面扉を開いたとき、通電中はコネクタや端子台の電極部に絶対に触れない。高電圧部分があり、感電の危険があります。
		空気の吸気口・排気口に細い棒などを入れない。空気が、塞がれて故障や火災の原因になります。
		焦げ臭いなどの異常があるときは、すぐに運転を停止して電源ブレーカを OFF にする。異常のまま運転を続けると火災や感電の原因になります。弊社にご連絡ください。
		電源コードを傷つけたりしない。物を載せたり、金属を押し付けたりしますと、火災や感電の原因になります。
		濡れた手で正面扉を開かない。感電の原因になります。
		電源コード及び充電コネクタが傷んだままで使用しない。感電・ショート・発火の原因になります。
		不当な分解や改造、修理をしない。火災・感電・けがの原因になります。修理は、弊社にご連絡ください。
		本体の掃除は、必ず電源ブレーカを OFF にしてから行う。感電の原因になります。
		長期間使用しない場合は、電源ブレーカを OFF にする。漏電による火災の原因になります。
	可燃性スプレーを近くで使用しない。電気部品の接点スパークで火災の原因になることがあります。	
	掃除の時に本体に水をかけない。感電・火災の原因になります。	

使用上の注意事項	 注意	
		電気自動車の充電以外に使用しない。 別の目的で使用しますと故障の原因となります。
		事故、地震などによる破損や転倒、水害などで水没した場合は、不用意に近づかず、触らずに点検を依頼してください。 火災・感電・けがの原因になります。
		本体に乗ったり物を載せたり等、しない。 落下や転倒でけが等、災害の原因になります。
		空気取り入れ口、および吹き出し口を塞がない。 内部の加熱による火災・故障の原因となります。
		充電コネクタケーブルを引っ張らない、無理な力を加えない。 破損のおそれがあります。
		充電しない場合、充電コネクタケーブルを充電コネクタ収納ホルダーに格納する。 充電コネクタケーブルの破損や、転倒、けがの原因となります。
		雨や水がかかる場合は正面扉を開けない。 感電・故障のおそれがあります。
		車両に充電コネクタを取り付けたまま、車両を移動しない。 感電・故障のおそれがあります。
		破損、ネジのゆるみ、錆などが無いか日常点検を行う。 本製品の故障の原因となります。
	植込み型心臓ペースメーカー及び植込み型除細動器（ICD）を使用している方は、充電中の機器本体部からの電磁波がペースメーカー、ICD の作動に一時的な影響を与える場合がありますので、次のことをお守りください。 ● 急速充電器に近づかないでください。 ● 急速充電器を操作する必要がある場合は、他の方にお問い合わせください。	

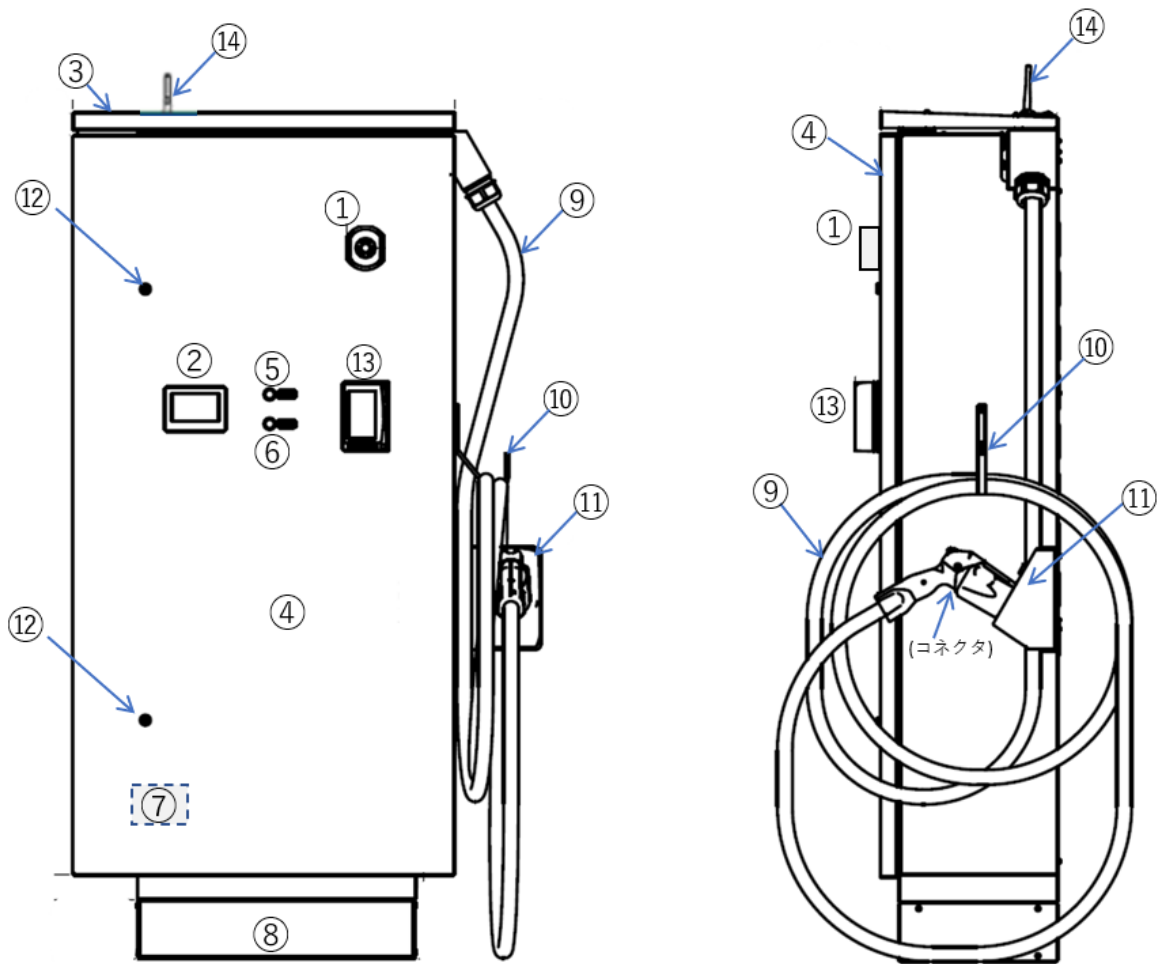
● 免責事項

下記については、当社は、その責を免ぜられるものとします。

- ①地震、落雷、風水害等の自然災害、第三者によって生じた被害。
- ②本製品の使用や不使用から生じる付随的な被害（充電不可による種々の影響等）。
- ③取扱説明書、施工説明書による使用や、据付方法が守られずに発生した被害。
- ④本製品は、日本国内で使用されるものとします。

2 各部の名称と働き

2.1 本体名称



【前面】

【右側面】

番号	名称	説明
①	非常停止ボタン	車両や充電器に異常が発生したときに押します。
②	ディスプレイ (タッチパネル)	充電状況や異常の表示、各種設定を行います。
③	天井板	太陽光からの遮光をするものです。
④	正面扉	電源の入り切り、履歴を取得するときなどに開閉します。
⑤	STARTボタン	充電を開始するときに押します。
⑥	STOPボタン	充電を途中停止したいときに押します。
⑦	銘板 (シール)	背面右下; 製造番号等記載。
⑧	設置ベース	基礎と充電器本体の固定に使用します。
⑨	充電コネクタケーブル	電気自動車急速充電器用コネクタ&ケーブルです。
⑩	ケーブルフック	長いケーブルを巻いておくためのフックです。 強い力をかけないでください。
⑪	充電コネクタ収納ホルダー	充電コネクタ収納用ホルダーです。
⑫	コインロック	正面扉の開閉時に使用します。
⑬	決裁端末 (カードリーダー)	充電料金支払いに使用します。
⑭	アンテナ	決裁システムとの通信用です。

2.3 充電コネクタ

Insertion opening guide

挿し込み間口ガイド

Insert the connector along this guide.

コネクタの挿入はこのガイドに沿って行います。

Release button

リリースボタン

Unlocks the latch from the vehicle side inlet.

車両側インレットとのラッチロックを解除できます。

Cover

カバー

Remove it only for emergency release.

緊急リリースの場合のみ取り外します。

Latch

ラッチ

Engages with Vehicle Inlet

車両側インレットとロックします。

LED Charge Indicator (Red)

充電表示 LED(赤)

LED turns on (red) while charging

通電中はランプが赤色に点灯します。

Torx screw

トルクスねじ

Remove it only for emergency release.

緊急リリースの場合のみ取り外します。

EV Cable

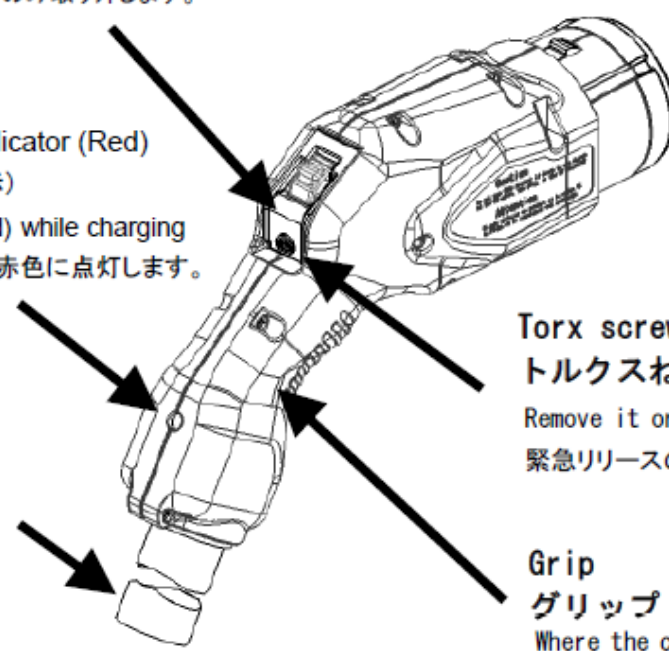
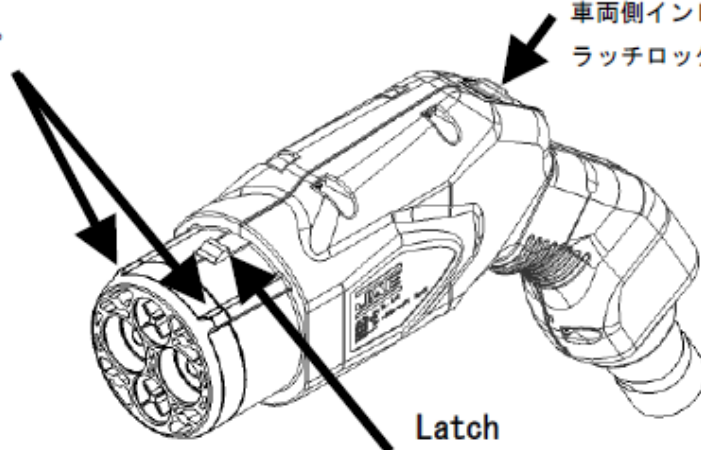
EV ケーブル

Grip

グリップ

Where the connector is held.

コネクタを持つ部分



3 使用方法

3.1 車両に充電コネクタを接続する

1 車両の準備

車両のシフト位置を『P』（パーキング）にします。
車両の電源を『OFF』にします。
車両の充電リッドを開きます。
充電リッドにある急速充電ポートのカバーを開けます。
詳細は、車両の「取扱説明書」をご覧ください。

2 充電器から充電コネクタを取り外す

充電コネクタは収納ホルダーにロックされています。
充電コネクタのリリースボタンを押しながら、充電コネクタのグリップ部を持ち収納ホルダーから取り出します。

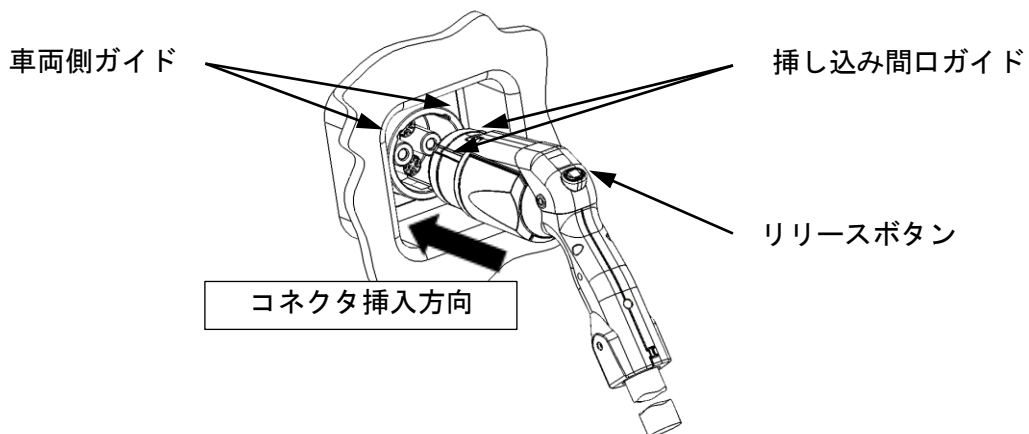
車両まで距離がある場合は、ケーブルフックに掛けられている充電ケーブルを取り外して伸ばします。

充電コネクタ及びケーブルは重量がありますので、落下や取り回し中の人や車両への接触などにご注意ください。

3 充電コネクタを車両に接続

挿し込み間口ガイドに合わせ、充電コネクタを充電口に挿入します。
充電コネクタを押し込んでください。
挿入が完了すると、カチッと音がします。(02.3 充電コネクタ P8)
抜けないことを確認してください。

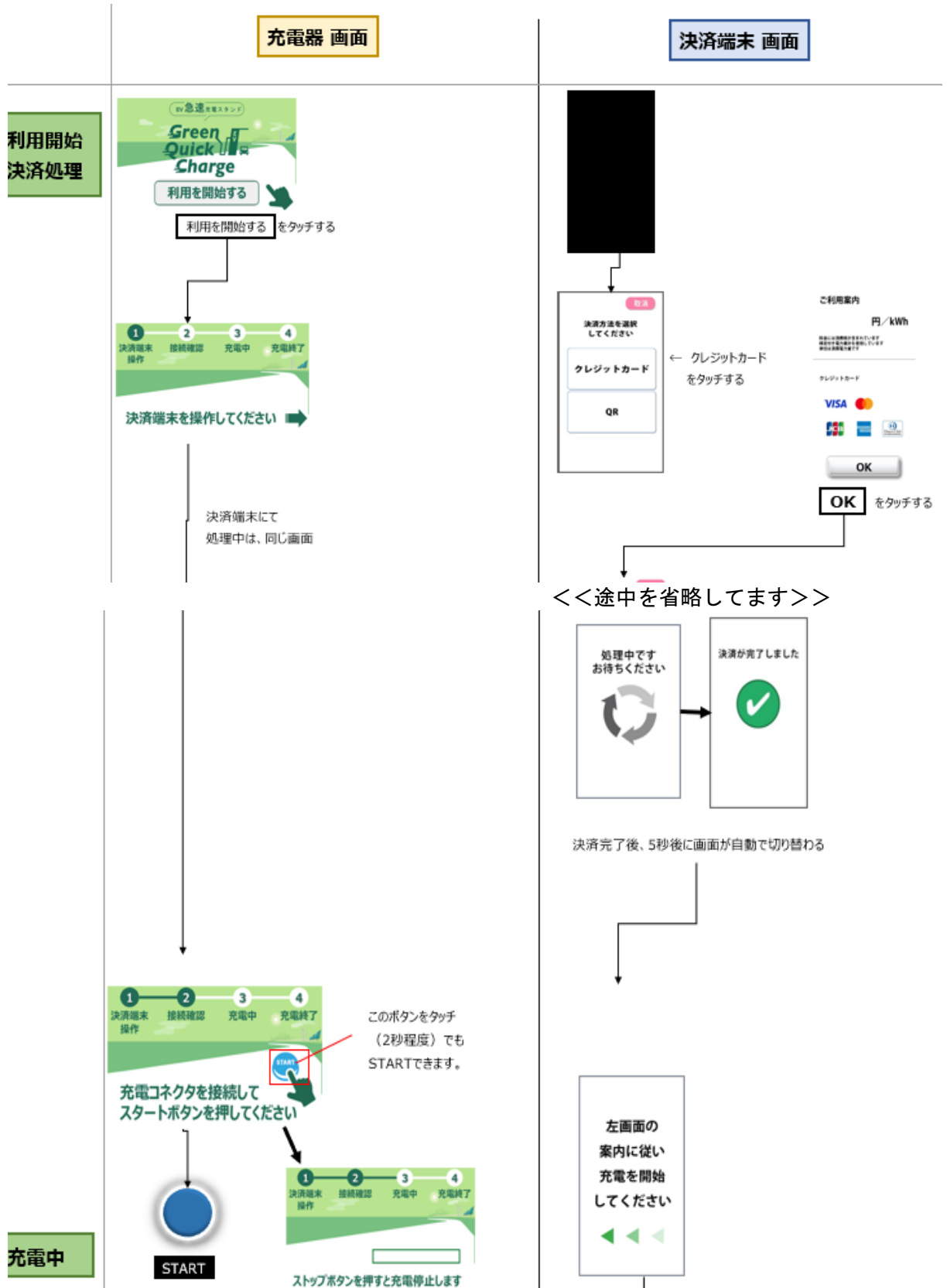
(注：下図の充電コネクタ本体は、本機標準型ではありません。)



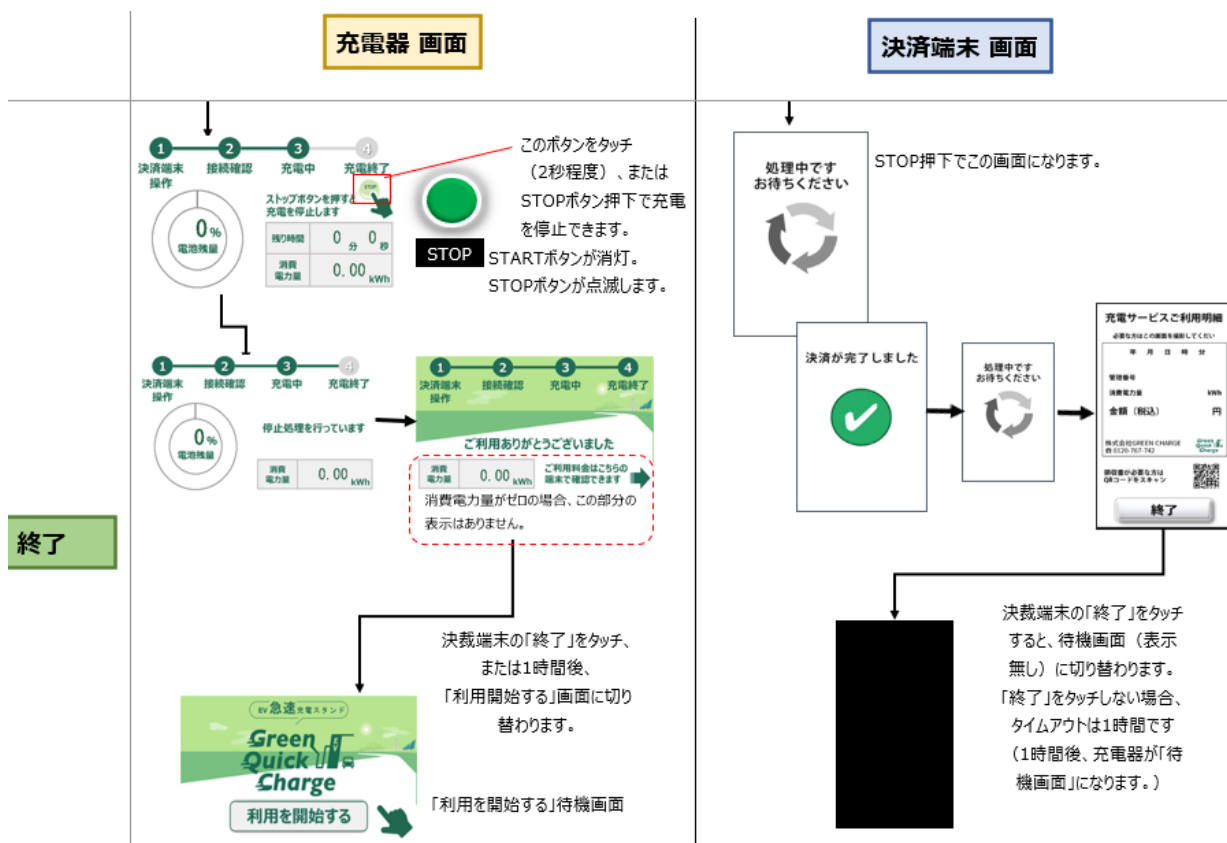
3.2 充電する

1 クレジットカードでの利用

下図に従って操作(詳細手順は、決済端末の指示に従って)ください。
 決済操作完了後、充電動作が可能になります。

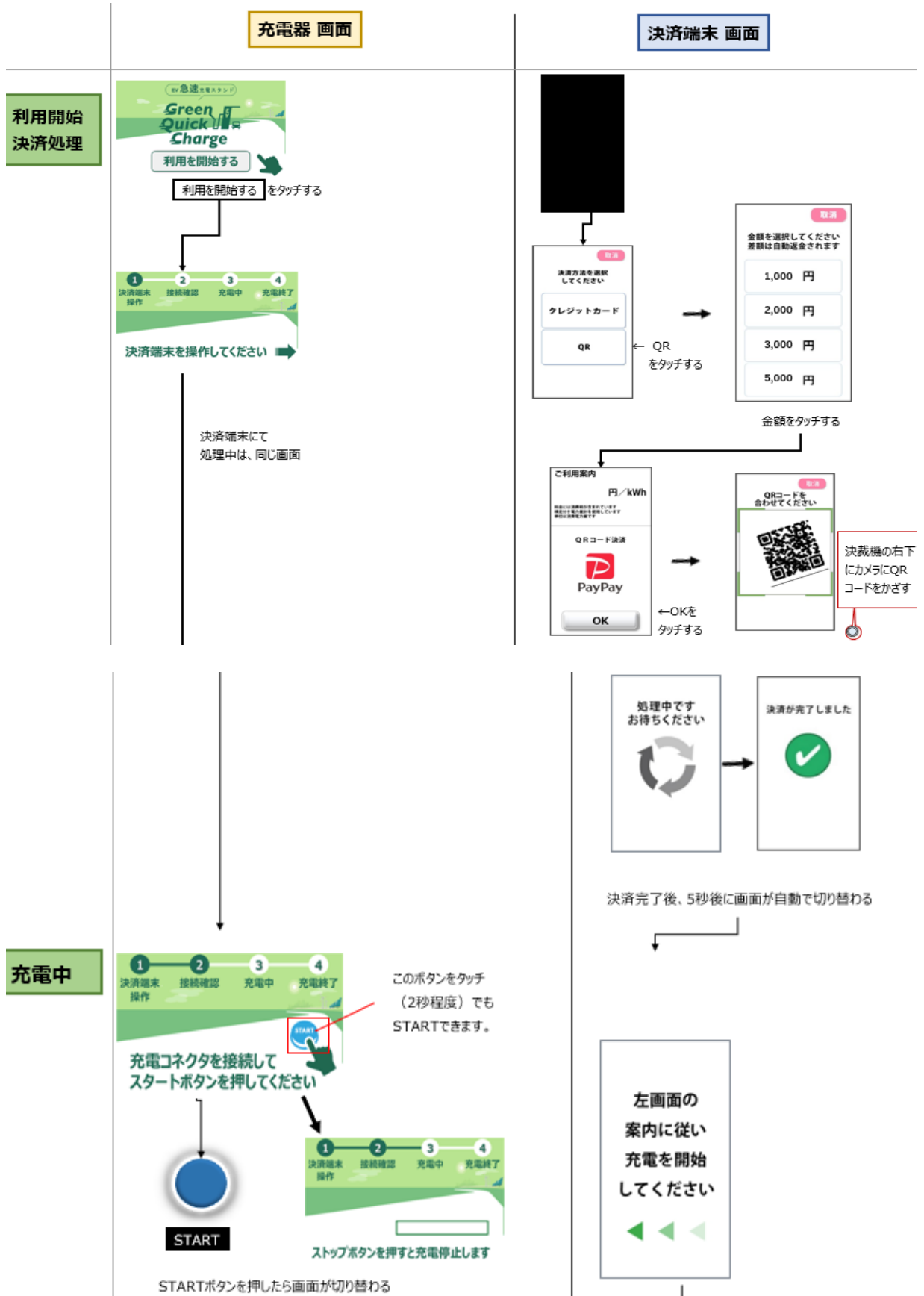


最初に絶縁試験が実施され、終了すると自動的に充電（通電）を始めます。
 充電（通電）中は、START ボタン(青)が点滅、STOP ボタン(緑)が連続点灯します。
 STOP ボタンまたはディスプレイ内の「STOP」をタッチすると、充電停止動作に入り、
 決済端末にご利用明細（金額）が表示され、終了となります。

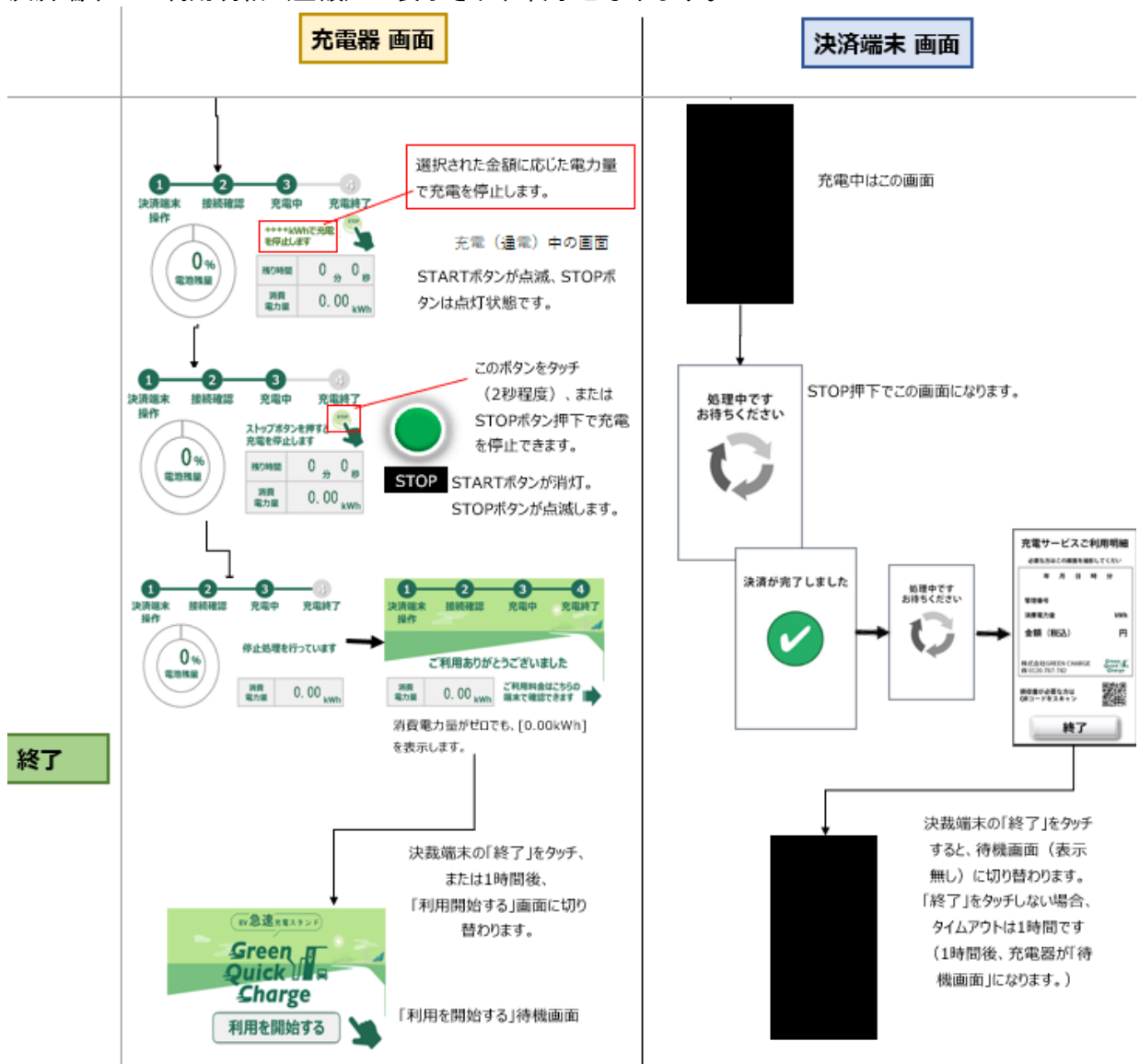


2 QRコードでの利用

下図に従って操作(詳細手順は、決済端末の指示に従って)ください。
 決済操作完了後、充電動作が可能になります。



最初に絶縁試験が実施され、終了すると自動的に充電（通電）を始めます。
 充電（通電）中は、START ボタン(青)が点滅、STOP ボタン(緑)が連続点灯します。
 STOP ボタンまたはディスプレイ内の「STOP」をタッチすると、充電停止動作に入り、決済端末にご利用明細（金額）が表示され、終了となります。



3.3 充電の停止 補足

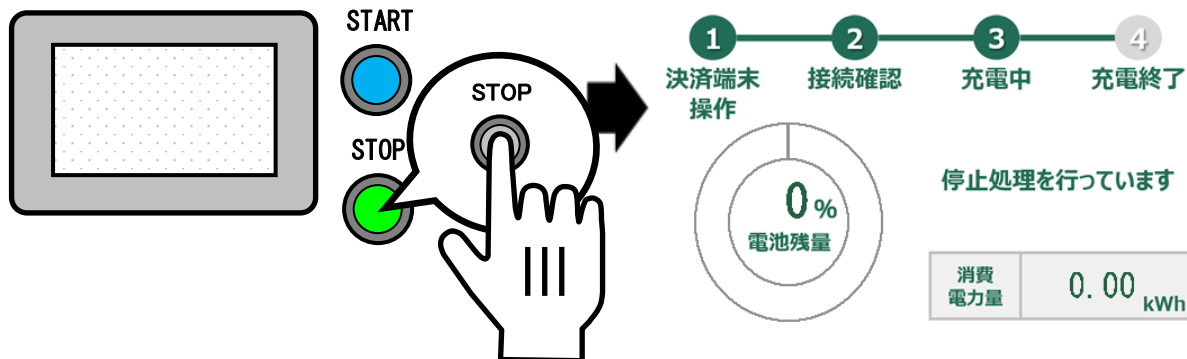
1 充電の途中停止

車両充電中はいつでも途中停止することができます。

緑色の「STOP」ボタンを押します。

停止処理に移行すると、「START」ボタンが消灯し、「STOP」ボタンが緑色に点滅します。

充電が終了すると、ディスプレイに「充電終了」画面が表示されます。



「充電終了」画面が表示されているとき「STOP」ボタンを押すと、「停止処理を行っています」画面が表示され、しばらくすると「利用を開始する」画面に戻ります。

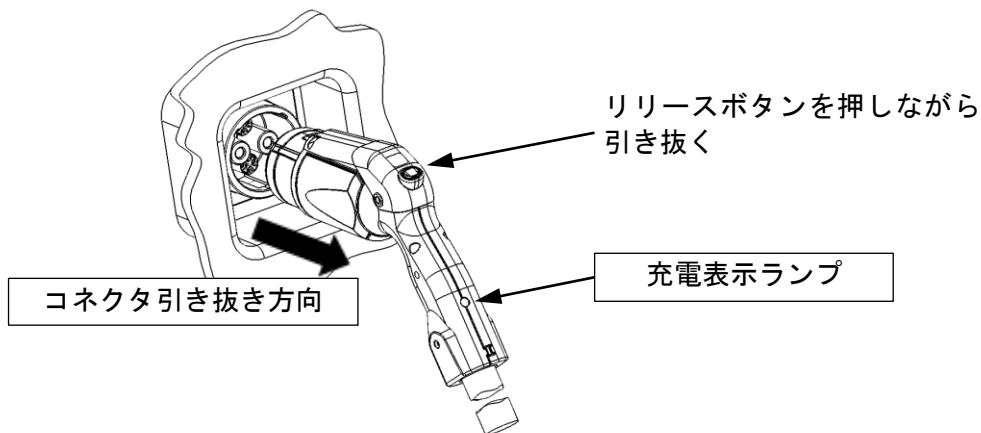
3.4 車両から充電コネクタを取り外す

1 充電中ではないことを確認する

充電コネクタの「充電表示ランプ（赤）」が消灯していることを確認します。

2 車両から充電コネクタを取り外す

充電コネクタのグリップ部を持ち、リリースボタンを押しながら、充電コネクタを車両側ソケットから引き抜きます。



3 充電器のコネクタ収納ホルダーに充電コネクタを戻す

充電ケーブルが長い場合は、大きな円を描くようにケーブルフックに掛けた後、充電コネクタを収納ホルダーの挿し込み間口ガイドに合わせ、収納ホルダーに挿入します。

カチッと音がするまで、充電コネクタを収納ホルダーに押し込んでください。抜けないことを確認してください。

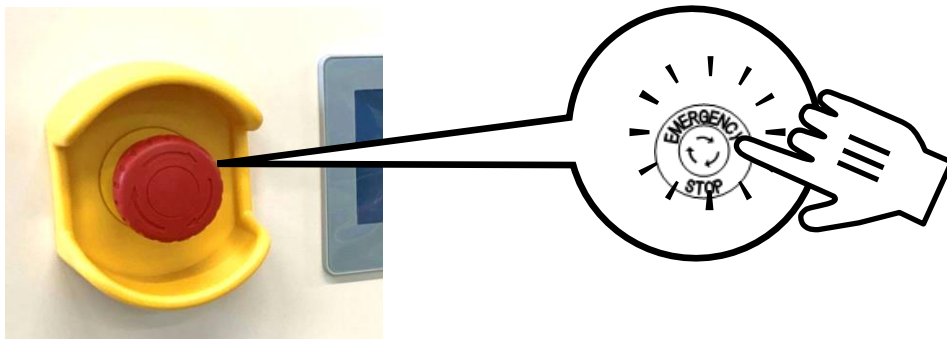
充電コネクタ及びケーブルは重量がありますので、落下や取り回し中の人や車両への接触などにご注意ください。

3.5 非常停止ボタンの操作

1 非常停止ボタンの操作

非常事態が発生した場合は、正面右側にある「非常停止」ボタンを強く押し込んでください。充電を即座に停止することができます。

非常停止ボタンを押すと、ディスプレイに「異常」が表示されます。



押す

3.6 非常停止からの復帰方法

「非常停止」ボタンが押されると、押された状態をロック（保持）します。復帰するにはロックを解除します。

1 非常停止ボタンのロック解除

「非常停止」ボタンを押されると、押された状態をロック（保持）します。

ロックを解除するには、「非常停止」ボタンを右に回します。

「非常停止」ボタンが手前方向に戻ると、ロックが解除されます。



2 異常の解除

「STOP」ボタンを押して、異常を解除します。

(3.7 異常を解除する P16)

3.7 異常を解除する

1 異常を解除する

「STOP」ボタンを押すと異常が解除され、「利用を開始する」画面が表示されます。但し、異常発生原因を取り除かない場合は、異常リセットされません。

「STOP」ボタンで異常解除できるのは「復帰可異常」です。
(エラー! 参照元が見つかりません。エラー! 参照元が見つかりません。 P エラー! ブックマークが定義されていません。)

「STOP」ボタンで異常解除できないのは「復帰不可異常」です。
(エラー! 参照元が見つかりません。エラー! 参照元が見つかりません。 P エラー! ブックマークが定義されていません。)
詳細は (05. 異常発生時の処置 P18) をご覧ください。

4 こんなときは

4.1 「START」 ボタンを押しても充電が開始されない

ディスプレイに「充電スタート待ち」画面が表示されているときのみ、「START」ボタンが有効です。

4.2 「STOP」 ボタンを押しても充電が停止しない

ボタンが故障している可能性があります。

4.3 「START」「STOP」 ボタンが点灯／点滅しない

照光用 LED が故障している可能性があります。

4.4 ディスプレイでのタッチ操作ができない

ディスプレイ本体の故障または、制御系の故障の可能性があります。

4.5 ディスプレイの表示が見づらい

屋外に設置している場合、日差しによりディスプレイの表示が見えづらくなる場合があります。また、汚れや太陽光などの影響によりディスプレイ表面の保護シートが劣化します。保護シートは消耗品のため1年毎の交換を推奨しています。

4.6 充電時間が短い

充電時間は「車両からの指示」「充電器の設定値」のどちらか小さい方が採用されます。

4.7 充電が早く終わる

車両からの要求により、充電が停止することがあります。

4.8 充電率 100%まで充電できない

車両からの要求により、充電を途中停止することがあります。
車両の電池容量が大きい場合、充電時間内に満充電にできないことがあります。

4.9 充電コネクタが取り外せない

充電コネクタの充電表示ランプ（赤）が消灯しているとき、コネクタの取り外しができない場合は、コネクタ故障の可能性がありますので、お手数ですが充電器の管理者にご連絡頂きますようよろしくお願いいたします。

また、充電コネクタの充電表示ランプ（赤）が点灯中は、充電コネクタがロックされているため、取り外すことができません。

充電が終了しても充電表示ランプ（赤）が点灯している場合は、お客様の安全のためにロックを継続している可能性がありますので、お手数ですが充電器の管理者にご連絡頂きますようよろしくお願いいたします。

4.10 ブレーカが落ちる

お手数ですが充電器の管理者様にご連絡頂きますようよろしくお願いいたします。

4.11 履歴が保存されない

ディスプレイ、制御系の不具合の可能性があります。

4.12 異常が解除できない

ディスプレイまたは取扱説明書の解除操作を行ったが異常が解除できない場合は、お手数ですが 管理者様へ お問い合わせください。

5. 異常発生時の処置

異常を検出すると、ディスプレイに異常画面が表示されます。
異常画面には、現在発生中の異常内容が表示されます。
異常項目内容と、処置方法については、
本機管理者様に お問い合わせください。

ご連絡先

会社名 株式会社 GREEN CHARGE
住所 静岡県浜松市西区舞阪町舞阪2701-9 浜松市サテライトオフィス4階
連絡先 0120-767-742
メール info@greencharge.co.jp
HP <https://www.greencharge.co.jp>



お問い合わせフォームはこちら